

平成 18 年 4 月 10 日

6 号機原子炉建屋における非放射性の水の漏えいについて

当所 6 号機は定期検査中ですが、平成 18 年 4 月 7 日午前 9 時 7 分頃、原子炉建屋地下 1 階の残留熱除去系*¹ B 系の熱交換器室内において水が漏れているとの連絡を、協力企業作業員より受けました。ただちに当社運転員が現場を確認したところ、原子炉建屋地下 1 階にある当該系統の海水系*² 配管に設置された海水出口弁（点検中）の開放部からの漏えいであることを確認しました。このため、当該配管内の水抜きを行い、漏えいは停止しました。

漏えいした水の量は約 1,050 リットルであり、回収のうえ、拭き取りによる清掃を実施しました。

今後、原因を調査いたします。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

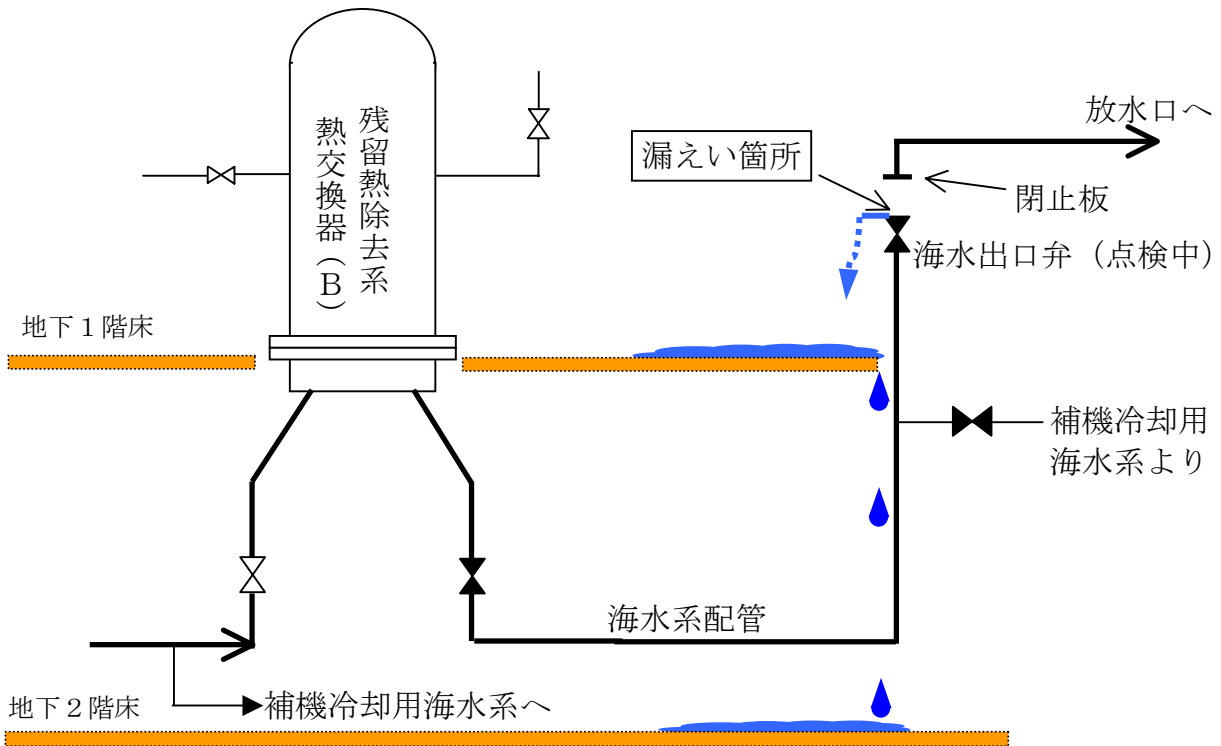
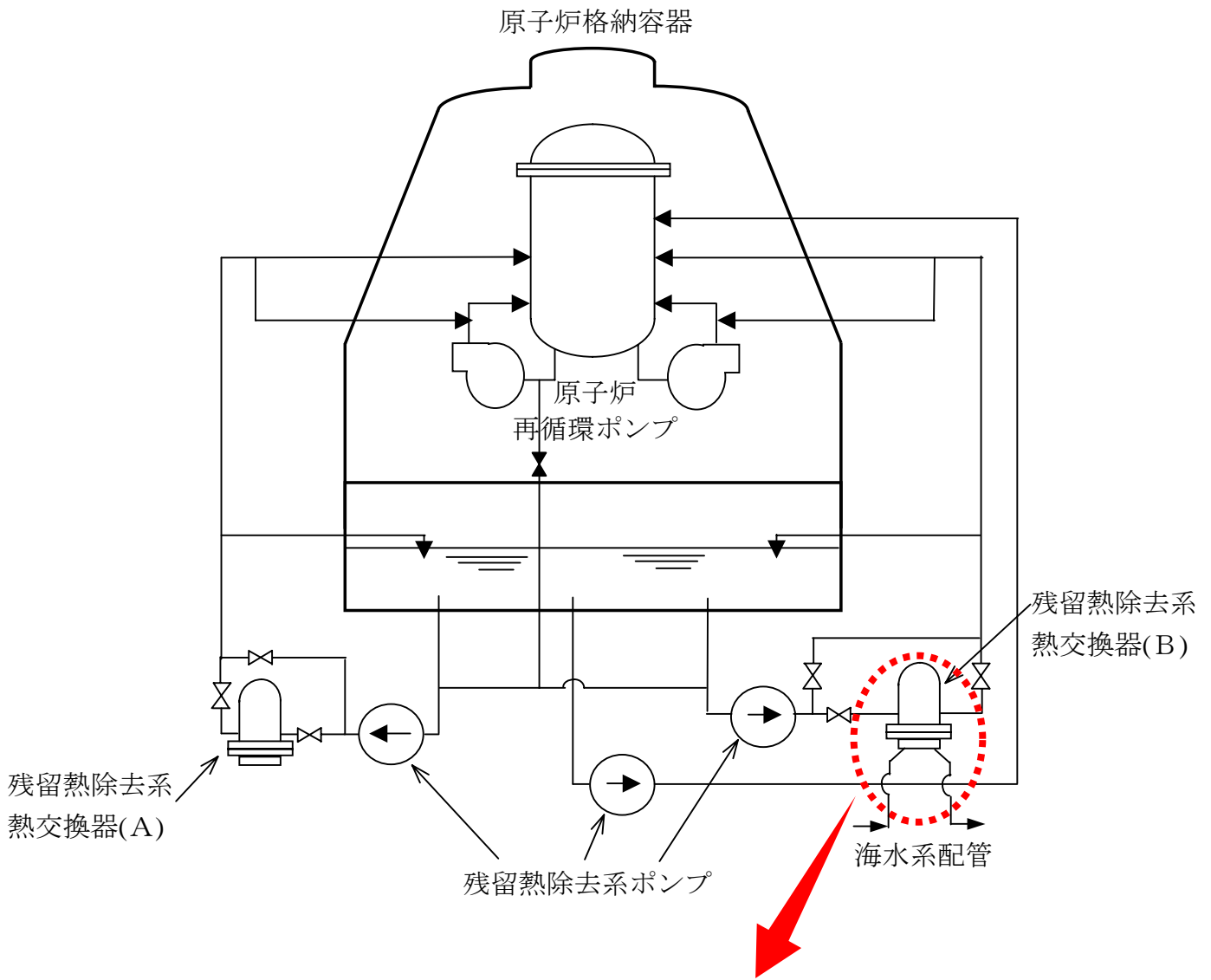
* 1 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却（燃料の崩壊熱の除去）や非常時に原子炉水を維持する系統で、2 系統（A 系，B 系）ある。

* 2 海水系

残留熱除去系熱交換器等を冷却するための海水を供給する系統。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、休前日に発生した不適合事象を翌営業日に公表しているものです。



6号機原子炉建屋内における水漏れ概略図